



# わかあゆ 2022

～吾こそが知性のペンを磨きゆく～

佐世保市立柚木中学校 学校だより  
《令和4年1月6号》  
文責：校長 埋ノ江 章  
令和4年1月14日（金）  
今日は何の日：飾納 松納 どんと焼き  
愛と希望と勇気の日(1959) 等

柚木中精神：校門の第一歩は学習の第一歩  
学校教育目標：心豊かで自ら学ぶたくましい生徒の育成  
めざす生徒像：思いやりのある生徒 意欲的に取り組む生徒 ねばり強くやり抜く生徒  
三無一礼：無言清掃 無言配膳 無言整列 校門での一礼  
一校一徳運動スローガン：Let's Greet! ～笑顔の花を咲かせよう～

生徒会スローガン：Draw tomorrow! ～明日を描こう!～

～ 学校・家庭・地域共通の子育て目標 ～  
いつでも・どこでも・誰にでも、あいさつができる柚木っ子の育成

## 今日は暦の上では「大安」「一粒万倍日」ですが ～ 愛と希望と勇気の日 ～

「学校だより」を書き始めるにあたっては、インターネットで「今日は何の日」と検索していますが、今回は思わず「大安」と「一粒万倍日」が今年初めて重なったので、「きっと良い日になる!」と自分に言い聞かせました。しかし、歴史上の記念日を確認すると、1月14日は「愛と希望と勇気の日」がありました。

また、これに関わっては「タロとジロの日」を知っておくと、この記念日の意味合いも理解できるものと思います。当時、私もまだ生まれていませんが、小学生の頃、「タロとジロの物語」という本を読んで感動したことを覚えています。犬好きな人には是非とも読んでもらいたいですね!

それでは、「愛と希望と勇気の日」の背景について簡単にお知らせしておきます。

1959(昭和34)年のこの日、南極に置き去りにされた南極観測隊の2匹のカラフト犬・タロとジロの生存が確認された。

1956(昭和31)年の秋、南極観測船「宗谷」で11人の隊員が東京港を出発。15頭のカラフト犬も犬ぞり隊として参加した。

1958(昭和33)年、第2次越冬隊を送り込む為再び「宗谷」は南極に向かったが、厚い氷にはばまれて断念。

11人の越冬隊員はヘリコプターで救出されたが、15頭のカラフト犬は救出することができず、鎖につないだまま氷原に置き去りにされた。

翌1959(昭和34)年のこの日、ヘリコプターが2頭の生存を確認した。

南極から打電されたこのニュースは、世界を愛と希望と勇気の感動で包んだ。

ジロは南極で死亡したが、タロは5年後に日本に生還して北海道で余生を過ごした。

### ぞいを引く犬たち(犬ぞり)



<シャッターストックより引用>

## 全国的に感染拡大傾向に ～ インターネット記事の数も急増しています ～

昨日の県内における感染者数が、過去最多の160人と報道されました。佐世保市内においては55人の報告がされましたが、これも過去最多ということです。年明けの状況を考えると、これからさらに感染拡大することが考えられます。昨日の全国的な状況を見ると、オミクロン株の急速な拡大が続いていて、13日、全国の新型コロナの新規感染者は昨年9月2日以来およそ4カ月ぶりに1万8000人を超えています。さらに、長崎県を含む11県で過去最多を記録しています。

このことを受け、昨夜、県知事が記者会見を開き、**県内の感染状況をレベル「1」から「2-I」に引き上げ、警戒警報を発令**しました。これを受けて佐世保市立の学校における行動基準も上がり、さらに感染予防の対応もしっかりしていくことが求められ、保護者、地域、生徒のみなさんにも理解と協力をしていただく必要があります。<佐世保市教育委員会からの「お願い」を掲載しておきます。>

- \*生徒の同居家族に風邪症状がみられる場合は、登校させないことを徹底すること
- \*学校行事は不特定多数の交流を伴う等、感染拡大の可能性が高いものは原則中止又は延期を検討すること
- \*部活動は他校との交流は実施しないこと（公式戦への出場はのぞく）
- \*引き続き感染症対策については確実に対応すること

\*今日の四字熟語：油断大敵（ゆだんたいてき：油断こそ最も恐ろしい敵であること）